

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名	令和3年度第2回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	令和3年10月8日（金）				13時30分	
					15時00分	
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) アンケート結果概要について (2) 第4次男女共同参画プランの骨子（素案）について (3) その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	中静 晴美	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	欠席	委 員	須永 圭一	欠席
	委 員	松本 洋治	欠席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	吉野 孝規	出席	委 員		
	委 員	日下部敦子	出席	委 員		
その他出席者						
事 務 局	馬橋課長			青木副課長		
	山口主査					

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	地域支援課馬橋課長
2 あいさつ	寺山会長よりあいさつ
<p>3 議 題</p> <p>(1) アンケート結果概要について</p> <p>(2) 第4次男女共同参画プランの骨子（素案）について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青木副課長より審議会規則に基づき、会長が議長となる旨の説明を行う。 ・事務局より、アンケート結果概要について説明した。 <p>(引間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の性別については、どのように設問するか前回の審議会でも検討し、「女性」・「男性」・「それ以外」と設定した。「それ以外」と回答した方が1%いたことは、このアンケートにとっても大きな意味を持つと思う。また、回答者の性別や年齢の比率が、実際の町の男女比率や年齢比率と差が生じているため、アンケート結果をみる際には注意が必要である。今回、5割を超える回答率を得られたが、世間でも男女共同参画やジェンダー平等に関心が高まる中、タイミング良くアンケートを実施できて良かったと思う。前回の調査結果を踏まえて、この結果をプランに反映できればと思う。 <p>(宮本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第4次男女共同参画プランの骨子（素案）について説明した。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果からも改めて男女共同参画の啓蒙活動をしていくことが重要だと感じた。 <p>(吉野委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をどこまでプランに反映できるか分からないが、可能な限り反映した内容としたい。 <p>(日下部委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの方向性は、素案のとおりで良いと思う。 ・プランの方向性は良いと思う。 基本目標Ⅰ「あらゆる人権・多様な生き方を尊重できる意識づくり」の施策の方向性に「男性の家庭参画の促進」とあるが、育児は男性も女性も一緒にやっっていこうという意識づけをすることで、育児参加の機会など、男性の家庭参画を促す工夫なのだと思う。 ・基本目標Ⅲ「誰もがいきいきと暮らせる社会づくり」の施策の方向性に「ライフステージに応じた健康支援の推進」とある。各種検診等は実施されているが、脳ドックなどもう一段階高度な検診の充実や認知症や介護予防などの問題をケアできるような、健康支援を実施してもらいたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「意識づくり」は、すべての施策に関わってくる課題であるが、主要課題「家庭における男女共同参画の推進」、施策の方向性「男性の家庭参

画の促進」を基本目標Ⅰに入れることにより、幼少期からの家庭での男女共同参画に対する意識づくりに繋げていきたいと考えている。

・「ライフステージに応じた健康支援の推進」を施策の方向性としたのは、これまでさまざまな取組を実施していたが、今回、「生涯を通じた健康づくり」を主要課題に掲げ、各種検診や介護予防教室などを具体的に示したいと考えたからである。

・脳ドックは2年に1回助成している。指標にすることは難しいかもしれないが、他にも検診や教室などを実施しているので、プランに掲載していきたい。

(宮本委員)

・主要課題が漠然としているように思えるが、もう少し分かりやすく説明があったほうが良いのではないか。

(事務局)

・主要課題の内容については、本編の中では具体的に現状や課題の説明があるため、ここでは、計画の体系(案)がこの方向性で良いかを審議していただきたい。

(中静委員)

・主要課題Ⅲ「生涯を通じた健康づくり」の中に施策の方向性「介護予防の普及啓発」があるが、現在、介護予防生活改善事業で空き家を利用した「居場所づくり」や、高齢者生活支援サポーターの育成など、さまざまな取組をしている。今後、指標として示せると、生涯を通じた健康づくりの推進につながると思う。

(事務局)

・介護予防では現在、担当課で新たな指標となる事業の洗出しをしているので、期待したい。

(番場委員)

・町民から「男女共同参画」の意味や嵐山町での取組が分からないという意見をいただいたことがある。せっかく多くの事業や取組を実施しているのに、認知度が低い。多くの事業が男女共同参画につながっているということを理解してもらうことが大切だと思う。

(事務局)

・男女共同参画は、すべてのことにつながっているので、各種事業を実施していく上で、男女共同参画につながってくることを少しでもPRできれば良いと思う。

(宮本委員)

・ゲームや映画など、気軽に楽しく男女共同参画を広めていく方法があれば良いと思う。また、プランの策定だけに留まらず、もう一歩進んだアクションを起こしていきたいと思う。

(事務局)

・男女共同参画の担当課が主導で研修会等の事業を実施することもできるが、やはり、各課の取組が男女共同参画へつながっていくことを認識して、事業を展開してもらいたい。


(引間委員)

・計画の体系の構成については良いと思う。体系図にしたことで、目標、課題、施策の方向性がある具体的な施策・事業があること、また、施策・事業を実施することが課題の解決、目標につながるということが分

(3)その他	<p>かりやすく捉えられている。今後の検証をする上でも分かりやすくして良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課の事業は、必ずしも男女共同参画の推進のために実施しているわけではないが、つながっていることを認識してもらえるような情報提供をすることも重要ではないか。また、庁内会議ではどのような事業を実施したら課題が解決できるのか考慮した上で、指標を検討していただきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議録の署名委員については、日下部委員と中静委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
--------	---

4 閉 会	宮本会長代理
-------	--------

上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和 3 年 10 月 29 日 署名委員 中静 晴美 

令和 3 年 10 月 29 日 署名委員 日下部 敦子 